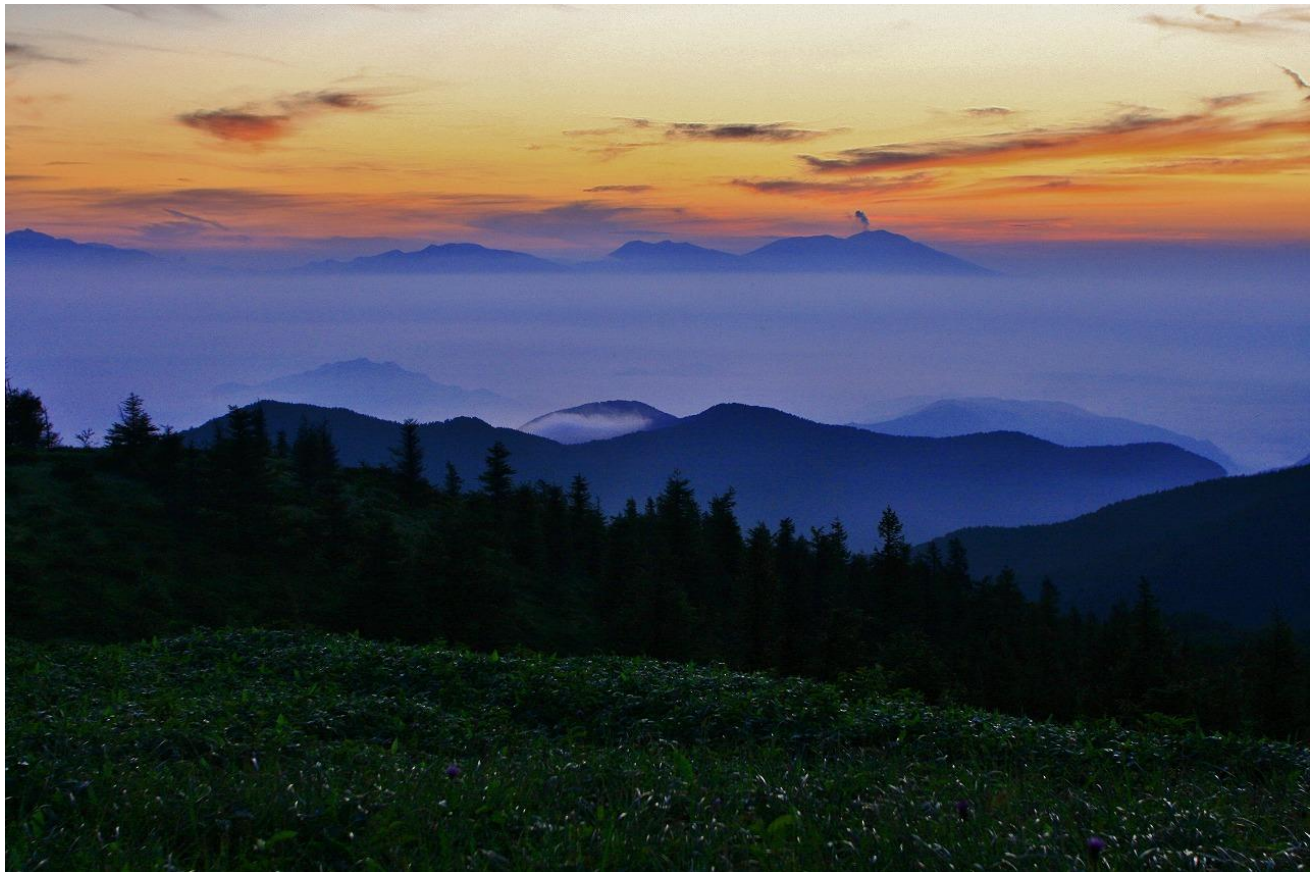


# 山岳友の会会報

2025 年 1 月 第 54 号



朝の浅間山（美ヶ原高原） 撮影：荻野 秀夫

## も く じ

|                          |           |   |
|--------------------------|-----------|---|
| 年頭のご挨拶                   | 会 長 山口 孝  | 2 |
| 第73回現地研修会（安達太良山）         | 報 告 小林 久雄 | 2 |
| 第25回憧憬の森講演会              | 報 告 西村 基志 | 3 |
| 会員交流会（24.12.14）          | 報 告 金子 滉克 | 4 |
| 明神養魚池メンテナンス（24.10.19-20） | 報 告 小林 久雄 | 5 |



## 年頭のご挨拶

山岳友の会会長 山口 孝



友の会の皆様 新年明けましておめでとうございます

昨年も多く研修会、行事に参加いただきありがとうございました。

特に印象的だった山行は荒船山で、とても長い下り道でヒザも腰もガクガクとなり、皆様大変でしたね。これからは十分な下準備と調査をして、山行を決めてゆきましょう。

さて、去年の山のシーズンを振り返ってみます。

夏山直前の7月初旬に大雨が降り、槍沢、涸沢の登山道が流失する被害がありました。それぞれ各山小屋スタッフ総動員で何とか通行できるように登山道を確保しました。上高地⇨明神の六百沢は大きな被害となり、通行可能となったのは閉山間近でした。

登山道は各山小屋の生命線です。今後も皆で協力して、登山道の復旧と整備に取り組んで参ります。

本年も皆様にとって、穏やかで、素晴らしい一年となるよう願ってやみません。



## 第73回現地研修会

「紅葉の安達太良山に登りポリネシアンショーを鑑賞する」報告

小林 久雄

ようやく秋の気配を感じられるようになった11月8、9日、第73回現地研修会に参加しました。今回は、紅葉の安達太良山登山とホテルハワイアンズに泊まってのポリネシアンショーを愉しみにしての参加でした。

9時にバスで松本駅アルプス口を出発、400kmの長旅はビールの乾杯でスタート。さっそく宴会が始まりました。会議で参加出来ない竹原さんが、沢山のお漬物をわざわざ届けてくれて、賑やかに東御湯の丸SAに向かいます。何と東御でも今回参加出来なかった渡邊さんの奥様がお酒とおつまみを持ってきました。ここで今回の参加者12名が揃い、常磐いわき市に向かいます。ビールに日本酒、ワインと宴会は和やかですが.....15時までの長旅デス。



ようやくホテルに到着し、チェックインを済ませて、露天風呂に入って酔いをさまし、18時に宴会場に向かいます。村重さんが席くじや登山のおやつ等を竹原さんに代わってご準備くださり、和やかな宴会が始まりました。

ショーのスタートまで大宴会、会場を変えてのポリネシアンショーはSS席、2列目のど真ん中です。火のついたバトンの勇壮なダンス、30人を超える女性陣のダンスと2時間を超えるショーは盛り上がり、圧



巻でした。特別にステージ記念撮影もありテンションが上がり、その余韻の中ぐっすり休みました。



翌日は快晴無風の安達太良山へ。また 1 時間半バスで移動し、あだたら山ロープウェイ山麓駅に到着しました。この時期は土日みのみの営業とあってか、駐車場には沢山の車が駐車していて驚きました。紅葉のあだたら山ロープウェイですが.....帰りのバスの出発時間まで 2 時間しかなく、森林限界の仙女平までが限界、山頂の胎内岩を眺めて、渡邊さんのクロ

ワッサンとビールでやむなく下山。12 時にバスは帰路に。

ワインが足りないと、二本松の高速入口の直前でご当地スーパー ヨークベニマルに駆け込み、山口会長より巻きずしとワインを差し入れていただき、再度バスの宴会が始まりました。また帰路は 400km 越えで宴会は好調、磐梯山を右手に見ながら新潟を目指します。お腹いっぱい少し疲れ気味ですが、宴会は続きます。最後の休憩場所の妙高新井 PA で一息し、姨捨経由で松本に無事に帰り着きました。



安達太良山山頂には登れませんでした。圧巻のショーに大満足の現地研修会でしたー。

第 71 回現地研修の草津白根山に参加出来なかったので今回謝罪の報告とします。

【写真：澤田 義幸】

## 第 25 回憧憬の森講演会 報告

西村 基志

寒さがいよいよ厳しくなってきた師走。今年も恒例の「山岳友の会・憧憬の森講演会」が、松本市駅前会館で開催されました。例年、自然や科学をテーマに、興味深い講演が行われるこの会。第 25 回を迎えた今年の講師は、信州大学理学部生物学コースの松本卓也先生。

今回の講演テーマは「霊長類の進化」。動物行動生態学の視点から、私たちヒトと近縁種であるチンパンジー、そして地元信州のニホンザルのお話を交えながら、壮大な問いに向き合う内容でした。その問いとは――「我々はどこから来たのか。我々は何者か。我々はどこへ行くのか」。これはフランスの画家であるポール・ゴーギャンの 1890 年代終盤に描かれた絵画のタイトルですが、非常に哲学的であり、まさに人類の根源に迫るテーマです。



松本先生の研究スタイルは非常に興味深く、まさに“現場主義”。先生はアフリカの熱帯地域でチンパンジーの群れに密着し、時間をかけて彼らの行動や環境を丹念に観察し続けるという手法を取っています。一方、私は気象や雪氷が専門で、自然現象を数値化し、データとして可視化することで理解を深める分野に携わっています。データの「数値化」が不可欠な私の研究に対し、松本先生は「数値化し難い行動データの蓄積と考察」を通じて、霊長類の社会や行動を解明していく——このアプローチの違いがとても新鮮でした。

なかでも、私が強く惹かれたのは、チンパンジーとヒトの社会の違いです。ヒトは進化の過程でチンパンジーと分岐し、複雑で高度な社会を築き上げてきました。しかし、果たして私たちの社会は本当に「良い」成長をしてきたと手放しに言い切れるのでしょうか。松本先生の話聞いてみると、ふと「チンパンジーの社会の良い部分を取り入れ、人間社会にも活かせることがあるのではないか？」という思いが頭をよぎりました。豊かで複雑な人間社会だからこそ、忘れられた「自然とのつながり」や「温かい人間同士の繋がり」を、彼らの社会から学べるのではないかと感じたのです。

また、講演の中で松本先生は何度も「過去の類人猿の姿は、タイムマシンで過去へ行かない限り分からない」とおっしゃっていました。確かに、過去を正確に知ることは不可能です。しかし同時に、未来もまたタイムマシンでしか見ることはできません。それならば、今、目の前に存在するチンパンジーの社会様式から、人類の「これから」に活かせるヒントを見つけることはできないだろうか——そんなことを考えながら、講演に聞き入っていました。

1 時間半にわたる講演は、終わってみるとあっという間。それほど内容が濃く、示唆に富んだお話でした。松本先生が見つめるチンパンジーとニホンザルの姿を通して、ヒトという生き物の在り方を改めて考えさせられる機会となりました。

今回の講演を聞いて、私の中にはさらに多くの問いや興味が湧いてきました。人類の過去・現在・未来、そして霊長類としての私たちの立ち位置——ぜひまた次回、松本先生からこの続きを聞く機会があればと願っています。

【写真：荻野 秀夫】

## 会員交流会（24.12.14）報告

金子 滉克

お世話になっております。信州大学修士 2 年の金子滉克です。

憧憬の森講演会終了後、凡蔵で会員交流会を実施しました。私にとって学生生活最後（になるように頑張ります）の会員交流会でした。30・10 運動（松本市発祥とは驚きました！）を意識して料理とお酒に舌鼓を打ち、最後に全体で写真を撮って散会となりました。

昨夏の涸沢談話会の下山道中でケガをした際には、友の会の皆様に大変お世話になりました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。4 月からは就職で東京方面へ引っ越す予定ですが、友の会にも時々顔を出していけたらと思います。



【写真：澤田 義幸】

## 明神養魚池メンテナンス（24.10.19-20）報告

小林 久雄

10月19、20日寒冷前線が接近する中、秋の明神養魚池メンテナンスを実施しました。秋とは思えない南風、半袖で上高地入りしました。寒気接近、寒冷前線通過の予報通り、不穏な小雨模様でした。

池の水抜きの際に、お昼ご飯の無印の牛すじカレーと讃岐うどんで力を得て、作業開始。雨はさほどではありませんでしたが、強風で落ち葉が池に落ち、作業は難航しました。

池の入口付近は雨のために仕切り越しの泥でしたが、頑張って運びました。土のう袋の砂を運び、水の入口を調整し、16時までには作業を終了しました。



後片付けを早々に終わらせ、夕餉の支度です。今夜のメニューは信州プレミアム牛のすき焼きに、秋刀魚の塩焼き、滝沢さんが仕入れた松茸と、ヒュッテスタッフからの差し入れのイチロー・ブレンドウィスキーと、澤田さんの野沢温泉のジンと楽しい宴でした。大会で参加出来な



った小石ドクターからはミカンの差し入れがありました。いろり火を囲み、団らんを愉しみました。

今回驚きだったのは、一輪車のタイヤが修理されていて作業効率が向上したことでした。強い風の中でしたが、年寄り集団の頑張りで、最後は土のうで水の入りを調整し、終了しました。皆様のご協力に感謝します。

【写真：荻野 秀夫】

信州大学山岳友の会会報 第 54 号  
発行日：2025 年 1 月 6 日  
発行：信州大学山岳友の会  
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1  
信州大学山岳友の会事務局  
TEL：0263-37-3332  
FAX：0263-37-2438  
E-mail：suims@shinshu-u.ac.jp